



やまびこ
2025

5

4/22 高校新入生歓迎球技大会



2025年度学校目標：「Be a Pleasing Aroma of Christ：良きキリストの香りとして」

「三育教育の現場から見える、教師という仕事の魅力」・・・・・・・・

私は37年前に広島三育学院を卒業し、その後体育大学に進学しました。私はスポーツを学術的に深めたいという強い意欲がありましたが、多くの同級生は部活動でお世話になった先生のような指導者になりたい、保健体育教師になりたいという夢を持ちながら学生生活を送っていました。しかし、教師になることは非常に難しく、卒業後、多くの学生が別の道を選ぶことになりました。しかし、近年は、どの学校でも教師不足が深刻な問題となっており、公立・私立を問わず、私たち三育教育機関も例外ではありません。

教師という職業には、「子どもと関わり、将来への大きな影響を与える」という魅力的な要素がありますが、メディアでは過重労働や労働環境の問題が大きく取り上げられ、教師が「ブラック」と称されることも多くあります。このような状況を受けて、政府の中央教育審議会は先月、「教職課程のあり方」や「教員免許制度の見直し」、「教員不足の解消に向けた教員養成のあり方」について整理し、提案を行いました。その提案では、教職課程の単位数を最小限に絞り込むことで、より多くの学生を教職課程に引き入れ、養成段階から教員不足を解消する狙いが込められています（教育学術新聞2025/4/16）。

私が学生だった頃の教職課程に比べて、現在の課程では履修する科目や実習の数が増え、大学によっては追加で履修料を支払わなければならない場合もあります。そのため、学生にとって時間や経済的負担が大きくなっているのは事実です。強い志がなければ、途中で挫折してしまう学生も少なくないでしょう。また、教師になるという決断をする際、単に教科を教えるだけでなく、生徒対応や保護者対応、その他の業務が日々積み重なり、教師としての魅力を感じる前に辞めてしまうこともあります。

日本の学校では文化的に、生徒と教師の間に縦の関係が強調されます。しかし、私を含む三育教育の教師は、聖書に記されている「あなたがたの教師はキリスト一人だけである。あなたがたのうちでいちばん偉い人は、仕える者になりなさい。」（マタイ23：10,11）という御言葉に従い、イエス様に仕える「生徒のサポーター」として、日々生徒の成長を手助けすることを大切にしています。このような立場で、生徒たちが卒業後に「大学で研究を頑張っている」「教会活動に貢献している」「社会で活躍している」といったニュースを聞くと、「生徒のサポートをしてきて良かった」と心から感じます。この感動は、少なくとも3年以上教師として働かないと実感できないものかもしれません。

さらに三育教育の教師としての魅力は、信仰者として生徒と共に成長できる点にあります。私たち教師も神様の前では罪人であり、弱さを抱えて日々生徒と接しています。その弱さゆえに、生徒と共に聖書を学び、祈り、考えることによって成長する機会を与えられていることを実感します。私は、もし三育教育の教師でなかったら、信仰生活を続けていなかったかもしれないと時々思うこともあります。

聖書に「まことに神は力に秀でている。神のような教師があるだろうか」（ヨブ36：22）とありますように、神様に私たちの教師の働きを担っていただき、生徒たちと共に成長していきたいと強く願っています。

校長 北林 聡

中 中学3年生修養会 4/18～4/22

4月18日から22日の4泊5日、中学3年生は長崎の地で、最上級生となる学び(修養)のまとめをしてきました。

日本二十六聖人記念館や平和記念像、出島や軍艦島ミュージアム、イルカウォッチングなどを訪問して、長崎がもつ様々な側面から学び、楽しみ、視野を広げました。また、長崎市街地探訪やハウステンボスでは、班で意見を出し合って行動を決定し、みんなで協力して楽しい時間をつくり出していました。

期間中に安息日があり、長崎教会で賛美と証による礼拝プログラムを持たせていただきました。驚くほど大きな歌声を響かせている彼らの表情は、とてもイキイキとしていました。自分たちの賛美を心から喜んで聞いてくださっている教会員の皆様に力を得て、ますます賛美の声が大きくなっていくように感じました。

朝夕の礼拝では、聖書を通して「リーダー」について学び、話し合いの中では、学校目標や自分たちの目指すリーダー像について考えを深めました。自らの特徴を「カオス」と言ってはばからない彼らが、神様との絆を大切に、人々との関わりを大切にしながら、自分たちの個性を生かし、後輩たちの手本となるリーダーを目指していくという決意を新たにすることができました。

この修養会を通して成長した3年生が、中学校のリーダーとして後輩たちと協力して、中学校を良い方向へ導くリーダーとして活躍していくことを楽しみにしています。(中3担任 長澤 信夫)



中 中学1,2年生一泊旅行 4/20～4/21

春のやわらかな陽射しのもと、1年生と2年生による一泊旅行が行われました。今年度のテーマは「36人家族」。小学生を含む児童生徒35名に、神様お一人を加えて36人。私たちはその「家族」として、ともに時間を過ごし、学び、楽しむ旅へ出発しました。

2年生が主体となって企画・運営した今回の旅行は、1年生との絆を深める貴重な機会となりました。1日目は、徳島ヴォルティスのホームゲームにて試合運営のサポートをさせていただきました。普段は見ることのできないプロスポーツの裏側に触れ、責任感やチームワークの大切さを実感したソア活動は、生徒たちに大きな刺激と学びを与えてくれました。その後の試合観戦では、真剣にプレーする選手たちに目を輝かせ、仲間とともに盛り上がる姿が見られました。

行事報告

2日目は、香川県のレオマワールドで思いきり遊び、笑顔の絶えない時間を過ごしました。乗り物と一緒に乗ったり、景色を眺めたりする中で、自然と会話が生まれ、学年を越えた交流がさらに深まりました。

この旅を通して、ただ楽しい時間を過ごすだけでなく、互いを思いやり、一つの家族として行動することの大切さを実感できたことは、生徒たちにとって何よりの宝物です。ご家庭の支えに感謝しつつ、今回の学びを日々の生活にも活かしてまいります。(中2担任 中村 光)



高 新入生歓迎球技大会 4/22

雨が降り中止になるかと思われていたソフトボール大会ですが、無事に天気に恵まれ開会することができました。今回のソフトボール大会大会のテーマは「壁滅の刃」～球技稽古編～でした。このテーマは新入生と在校生との壁を壊すという意味をこめて決めました。ソフトボール大会をするにあたって雨の影響で二日しか練習することが出来なかった中開会しましたが、日常生活での怪我人が多く、一部のチームは他のチームの人にサポートに入っていました。午前の部では総当たりで試合をしました。午後からはトーナメント形式で試合をしました。決勝では途中で雨が降り始めましたが雨で熱がさめることなく最後まで盛り上がる試合となりました。

(高校研成会会長 徳江 伊吹)

保護者の皆様へ

① PTA関連の書類を同封しています。(別紙あり)

申込書は、全員回答をお願いしております。5月20日(火)が締め切りです。出席のご希望がない場合もご回答ください。また、スケジュールについては先月もお送りしておりますが、一部変更がございますので、ご確認ください。

② 「7月帰省日・8月帰校日の送迎スケジュール」を同封しています。ご確認ください。(別紙あり)

③ 住所録を同封しています。(該当者のみ)

住所の記載に同意してくださったご家庭に、住所録を同封しております。個人情報につき、お取り扱いにはご注意ください。

Schedule for the Activities

中学校

27日(日)～	春季祈祷週
～3日(土)	
7日(火)	避難訓練
6日(火)～7日(水)	応用テスト①
14日(水)	球技大会
22日(木)午後～	中間休み
26日(月)	帰校日
30日(金)	第1回英検1次、カレッジデー
31日(土)	オンライン説明会
1日(日)	第1回英検1次(準1級～) カレッジデー
6日(金)～8日(日)	春季PTA
9日(月)	休日

4月
5月

6月

高等学校

27日(日)～	春季祈祷週
～3日(土)	
7日(火)	避難訓練
19日(月)～22日(木)	定期考査Ⅰ
22日(木)午後～	中間休み
26日(月)	帰校日
30日(金)	第1回英検1次、カレッジデー
31日(土)	オンライン説明会
1日(日)	第1回英検1次(準1級～) カレッジデー
6日(金)	3年マーク模試
6日(金)～8日(日)	春季PTA
9日(月)	休日